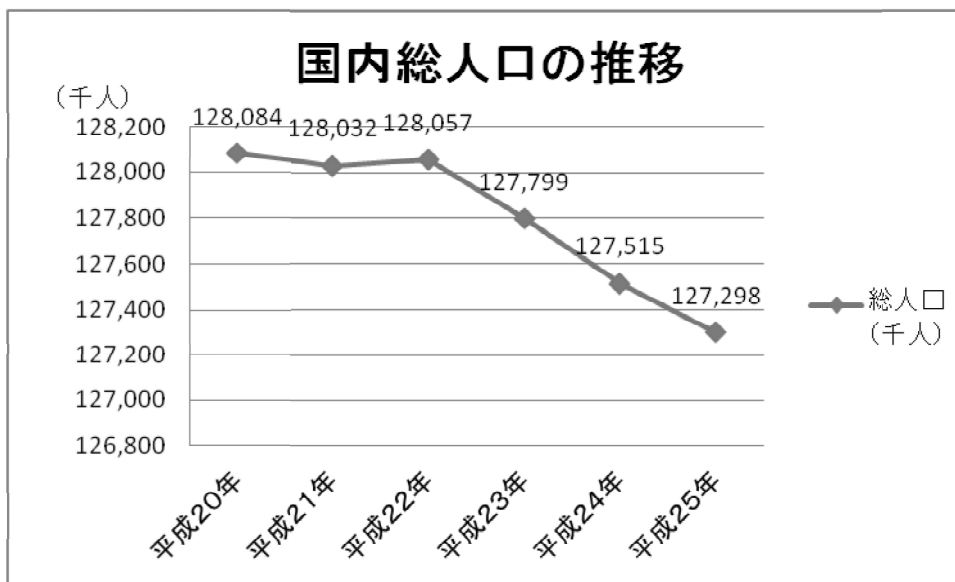


国内の人口推移等について

(ア)国内の総人口の推移

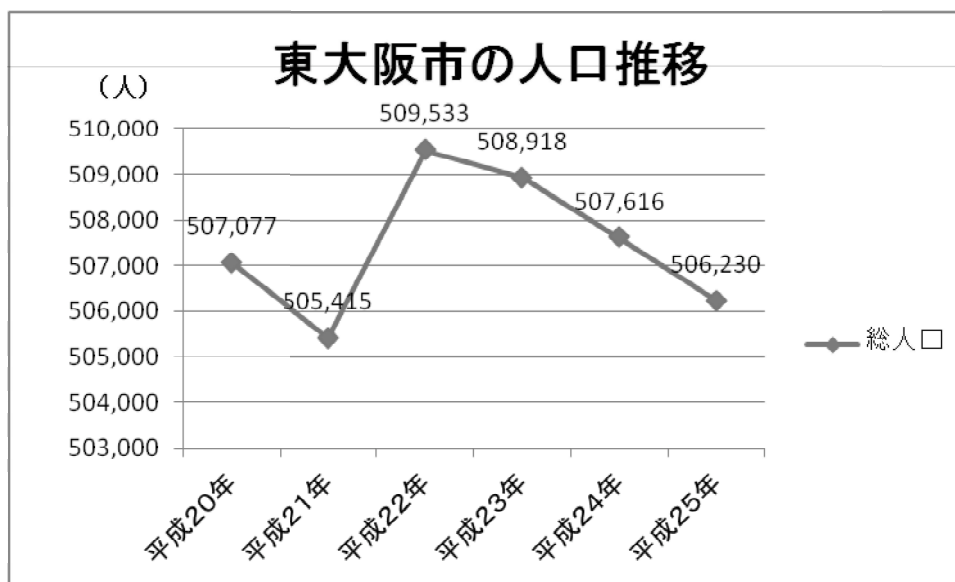
日本国内総人口について、平成22年以降減少割合が拡大している。



<総務省 統計局 人口推計 長期時系列データ>

(イ)東大阪市の人口の推移

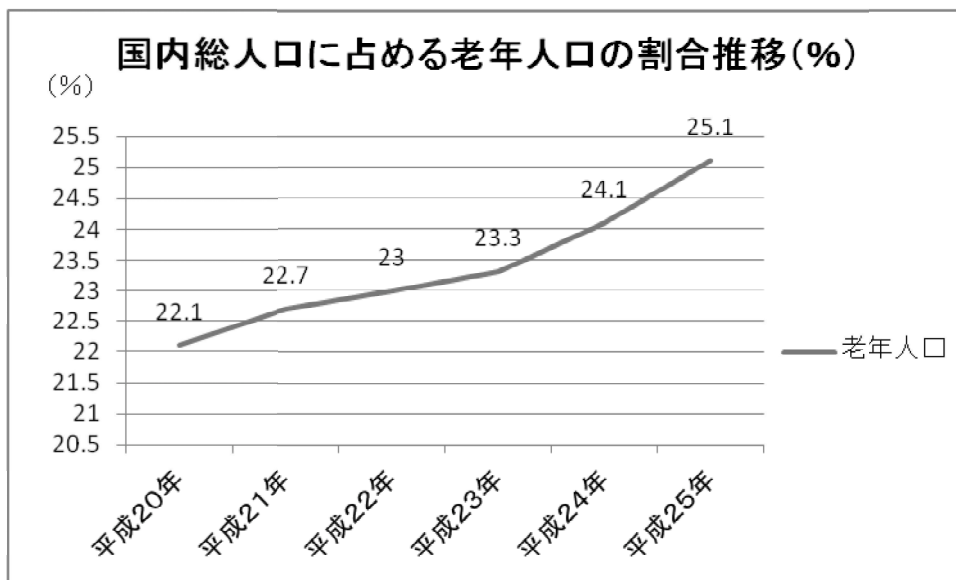
平成22年度には増加に転じているが、以降国内総人口と同じく減少傾向にある。



<東大阪市統計書 各年10月1日時点>

(ウ)国内総人口に占める老年人口の割合

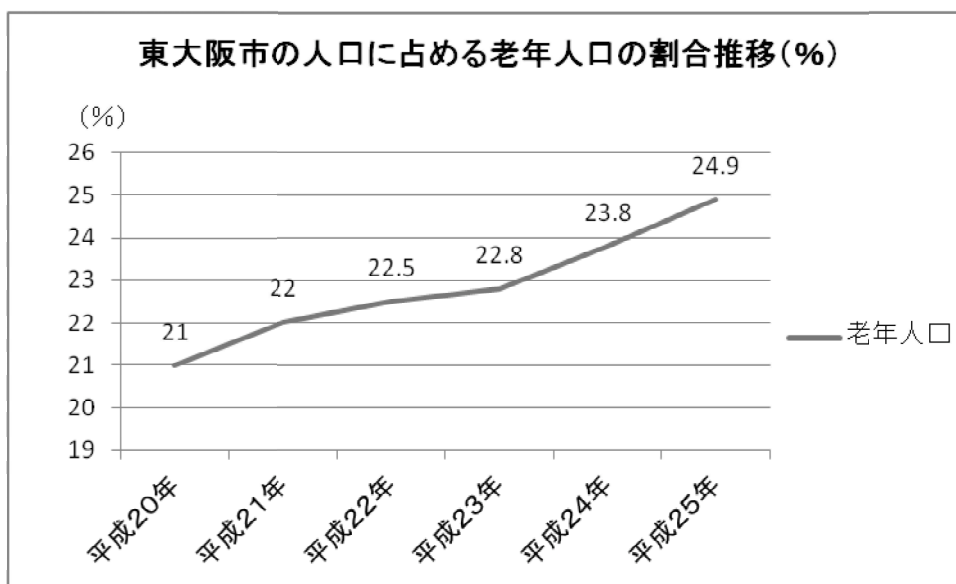
老年人口の割合：国内総人口のうち65歳以上が占める割合  
4人に1人が65歳以上という状態に入っている。



<総務省 統計局 人口推計>

(エ)東大阪市の人口に占める老年人口の割合

東大阪市内においても4人に1人が65歳以上という状態になっている。

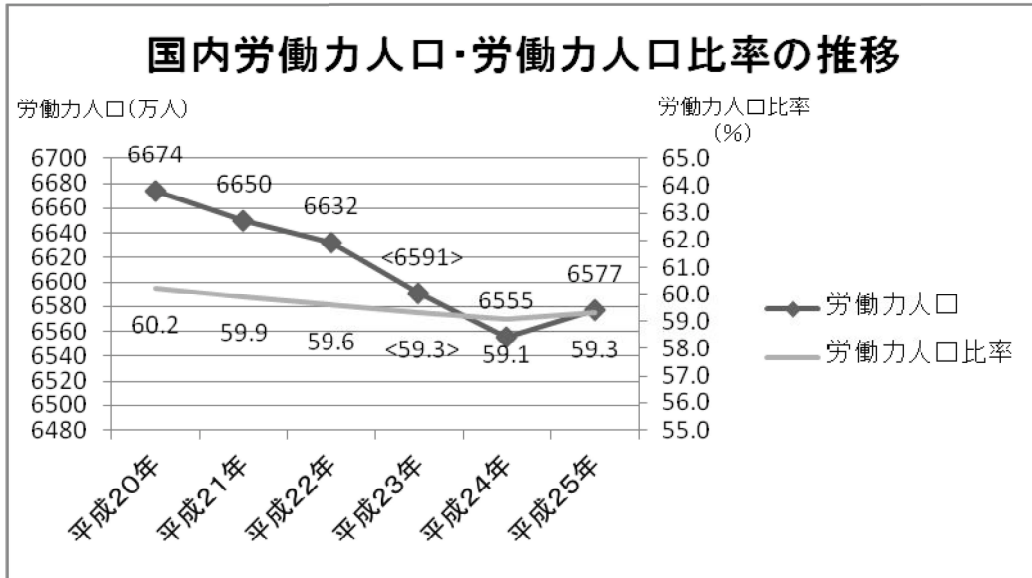


<東大阪市内人口統計表 各年9月末時点>

(オ)国内労働人口と労働人口比率の推移

労働力人口は減少傾向が続き、平成25年に持ち直しの動きがあるものの、労働人口比率は減少傾向が続いている。

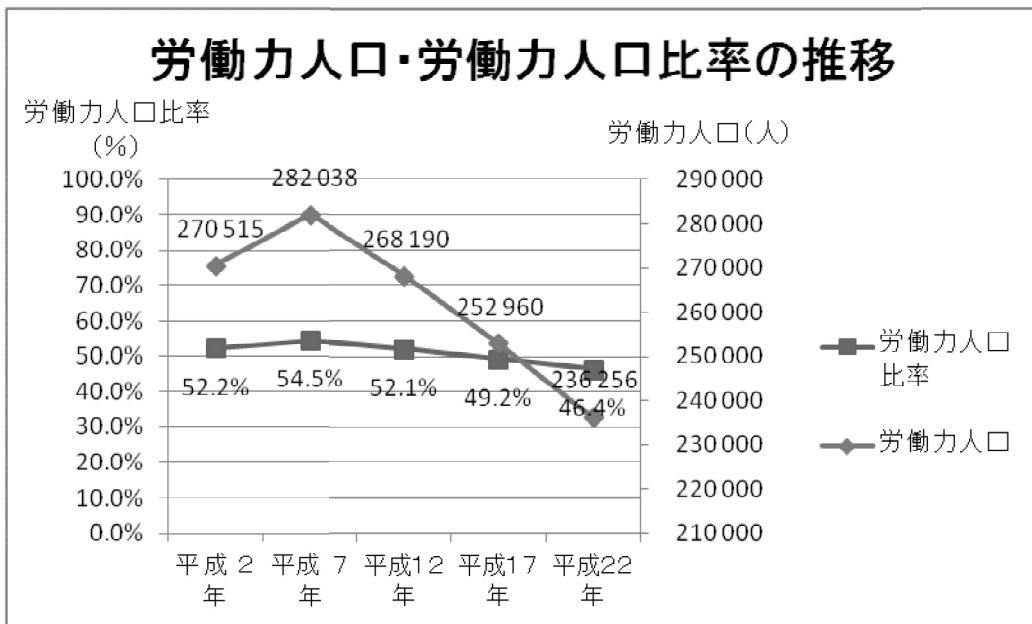
※労働人口比率＝就業者・完全失業者の数／15歳以上の人口数



<総務省 統計局 労働力調査長期時系列データ>

(カ)東大阪市の労働力人口と労働人口比率の推移

国勢調査の資料からの引用の為、国内の推移と比較はできないが、労働力人口が5割を下回る状態となっている。



<東大阪市統計書 各年10月1日時点>